

情報通信審議会 情報通信政策部会（第50回）議事概要

1 日時 平成28年6月20日(月) 13時30分～14時30分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

須藤 修（部会長）、新美 育文（部会長代理）、浅沼 弘一、石戸 奈々子、
近藤 則子、鈴木 陽一、竹村 詠美、谷川 史郎、知野 恵子、
根本 香絵、野間 省伸、三尾 美枝子、森川 博之（以上13名）

(2) 臨時委員（敬称略）

村井 純（以上1名）

(3) 総務省

（省幹部）

太田 直樹（総務大臣補佐官）

（大臣官房）

山田 真貴子（官房長）

（情報通信国際戦略局）

鈴木 茂樹（総務審議官）、谷脇 康彦（情報通信国際戦略局長）、
武田 博之（総括審議官）、小笠原 陽一（情報通信政策課長）

（情報流通行政局）

今林 顯一（政策統括官）、吉田 真人（官房審議官）、
吉岡 てつを（官房審議官）、今川 拓郎（情報流通振興課長）
豊嶋 基暢（情報通信作品振興課長）

（総合通信基盤局）

富永 昌彦（総合通信基盤局長）

(4) 事務局

吉田 博史（情報通信国際戦略局参事官）

4 議 題

「IoT／ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方」について
【平成 27 年 9 月 25 日付け諮問第 23 号】

【内容】

本件は、昨年 9 月に総務大臣からの諮問を受け、同年 12 月にとりまとめられた第一次中間答申を踏まえ、IoT 政策委員会において調査・検討が行われた結果について、委員会主査である村井臨時委員から報告を受けたもの。

本報告の主な内容は、第 190 回国会で法律改正が行われたテストベッド・セキュリティ演習のほか、今後取り組むべき政策として、

- ① データ利活用促進
- ② ソフトウェア化に伴う人材育成
- ③ 仮想化技術等のネットワーク投資の促進、
- ④ こうした技術・サービスの国際展開・標準化

の 4 点について、それぞれの取組の明確化・具体化が行われたものであった。

審議の結果、本報告書を当部会として了承し、7 月 7 日（木）に予定されている総会において、第二次中間答申（案）として提案することとした。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省 HP において公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 加藤、中山

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。